

鹿児島都市計画都市高速鉄道  
JR 指宿枕崎線

第1章 事業地域の概要



新永田橋交差点付近から谷山駅・桜島を望む

# 第1章 事業地域の概要

## 1-1 鹿児島市の概要

鹿児島市は、九州の南端鹿児島県本土のほぼ中央にあって、東経 130 度 23 分から 130 度 43 分、北緯 31 度 17 分から 31 度 45 分に位置し、北は姶良市、西は日置市、南は指宿市などと接しています。

鹿児島市は、島津氏の城下町として発展してきた歴史を有し、幕末から明治維新にかけ数多くの偉人を輩出するなど、個性あふれる歴史と文化は、独自の魅力として全国に広く知られています。

日本の南に位置する鹿児島市は、沖縄を含む南西諸島や東アジアと近接しており、古くから交流のゲートウェイとしての機能を果たしてきた歴史を有しており、平成 23 年の全線開業により北部九州や関西圏との時間的距離を格段に短縮した九州新幹線をはじめ、九州縦貫自動車道や南九州西回り自動車道などの高速交通網、さらには、離島航路の発着機能を持つ鹿児島港や、鹿児島市と短時間で結ばれた国際線を有する鹿児島空港など、陸・海・空の交通結節点としての機能を備えています。

また、鹿児島市は、活火山・桜島や錦江湾という世界的にも稀有な自然景観をはじめ、南北に広がるウォーターフロント、泉源豊富な温泉、温暖な気候、豊かな食材など、多彩な資源に恵まれるとともに、60 万市民の生活を支え、来街者を楽しませる、業務・商業機能などの都市機能が集積しています。

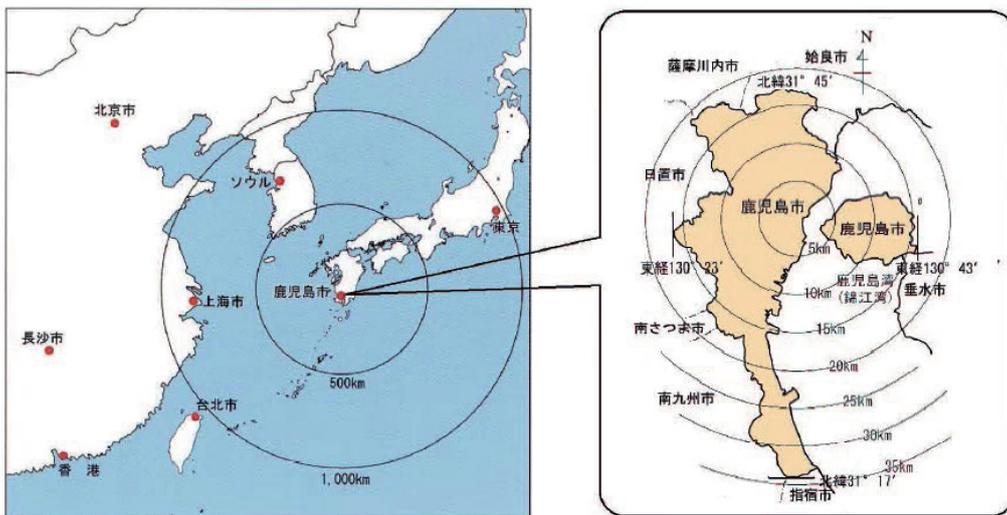


図 1-1 鹿児島市の位置

## 1-2 社会条件

### (1) 人口の推移

平成27年国勢調査による平成27年10月1日現在の鹿児島市の人口は599,814人で、平成22年をピークに減少に転じています。人口を年齢3区分にみると、年少人口は昭和60年、生産年齢人口は平成17年をピークに減少に転じていますが、老年人口は年々増加しており、昭和45年からの約45年間で約5.6倍となっています。

また、谷山支所管内の人口については、平成22年からほぼ横ばいで推移しています。

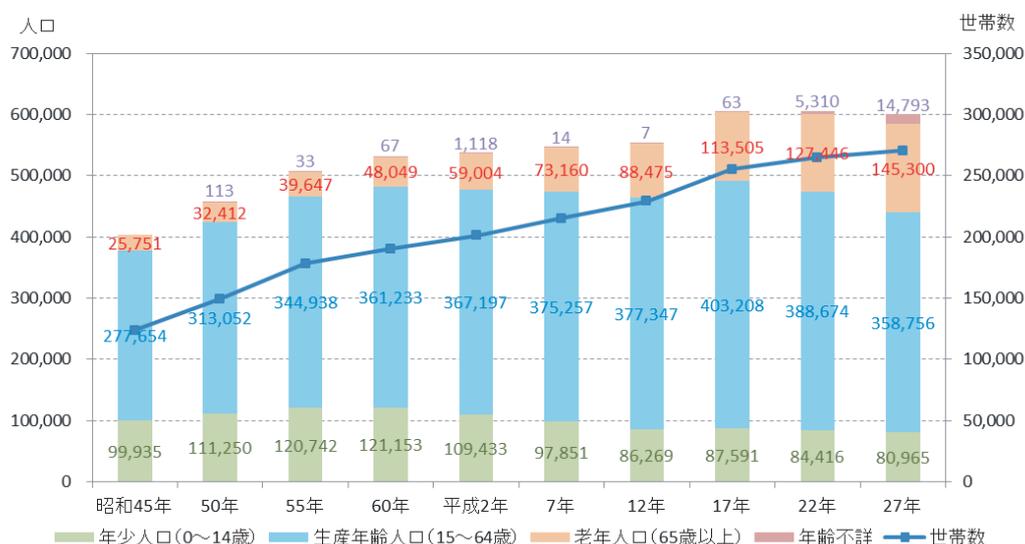


図 1-2 鹿児島市の人口推移

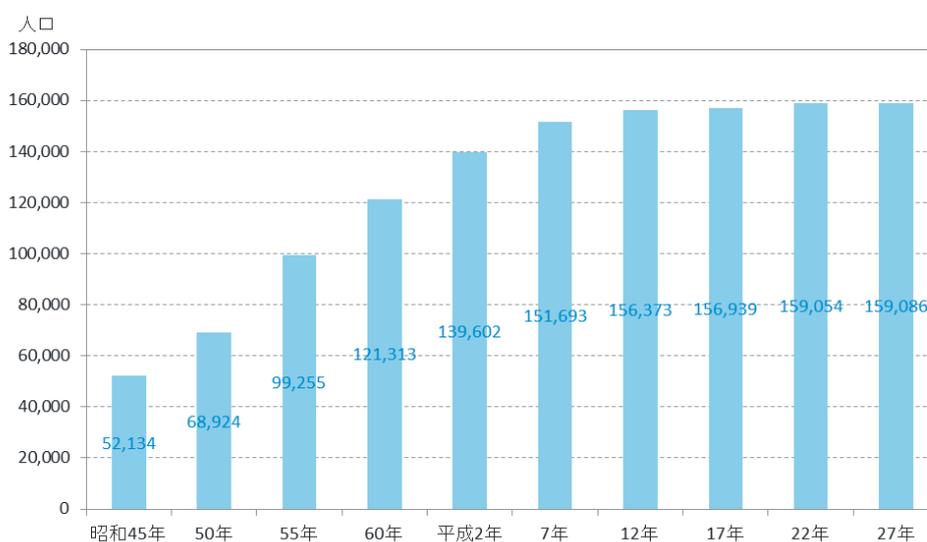


図 1-3 谷山支所管内の人口推移

(2) 公共交通網

鹿児島市の都市計画区域の公共交通網は、JR 在来線に加え、市街地を市電が運行しているとともに、鉄軌道がカバーされていない地域においては路線バスやコミュニティバス（あいばす等）が運行しています。また、桜島及び大隅半島を結ぶフェリーが運航しています。

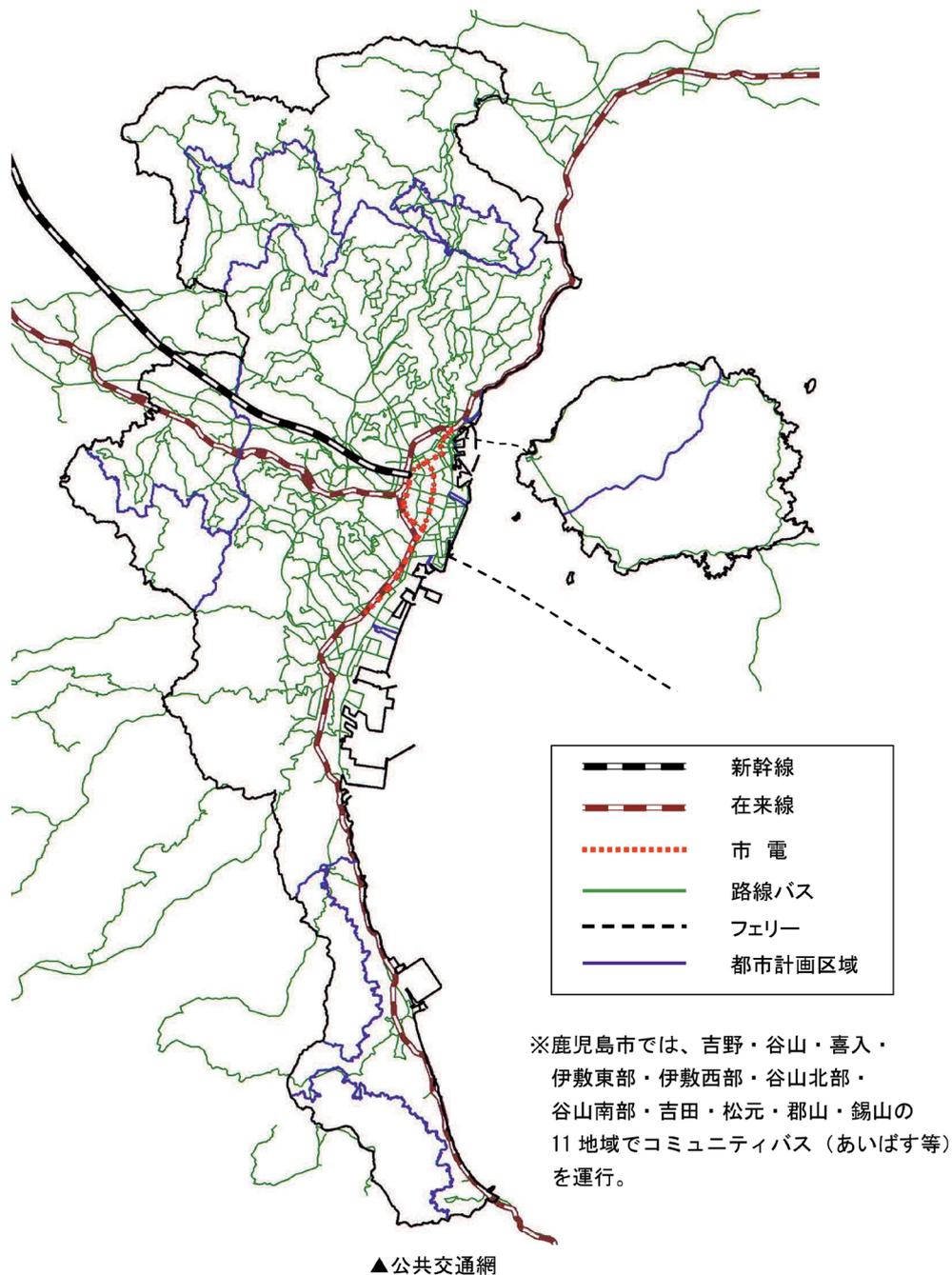


図1-4 鹿児島市の公共交通網

### 1-3 谷山地区の概要

谷山は、明治22年町村制の施行により谿山郡の区域をもって谷山村となり、その後、村の発展に伴い大正13年10月1日に町制を施行しました。その後、時代の進展に伴い人口も急激な増加をたどり、30年間町政が進められ、昭和33年10月1日に単独市制の施行、昭和42年4月29日に鹿児島市と合併し現在に至っています。

現在の主な土地利用の構成は、谷山駅周辺及び国道225号沿道の商業地、永田川、和田川下流域沿岸の住宅市街地、丘陵部の住宅地、臨海部の工業・流通業務地、そして地区の大半を占める山間部の山林・農村集落地からなっています。

臨海部の大半は公有水面埋立事業により造成され、和田川沿岸の住宅地は土地区画整理事業により基盤整備が完了しています。また、鹿児島市の副都心核として位置づけられている谷山駅周辺でも土地区画整理事業により、面的基盤整備、街区の再編が進められています。

地区には、JR指宿枕崎線が通り、谷山駅は広域交通と都心部方面及び地区の市街地交通を連絡する拠点駅となっていますが、指宿枕崎線が高架化されるまでは、永田川や鉄道を越える自動車交通の経路が限定されていたこともあり、幹線道路の交通渋滞が慢性化していました。



写真 1-1 谷山駅周辺地区航空写真（平成19年8月撮影）

1-4 かがしま都市マスタープラン（平成19年3月改訂）

## 7. 谷山地区のまちづくり構想



### (1) 地区の概況

#### ◆ 地区の構成

谷山地区は、本市の副都心核として位置づけられている谷山駅周辺の永田川、和田川等下流域沿岸の平坦地、それらを囲む丘陵地、内陸の山間地、臨海部の埋立造成地及び自然海岸から構成されています。

#### ◆ 人口

地区の人口は、2000年国勢調査において約7万3千人で、1985年から26.2%増加していますが、今なお区画整理等の影響により増加傾向にあります。老年人口比率は約14%と全市平均よりも若干若い年齢構成となっています。

#### ◆ 土地利用の状況

主な土地利用の構成は、谷山駅周辺及び国道225号沿道の商業地、永田川、和田川下流域沿岸の住宅市街地、丘陵部の住宅地、臨海部の工業・流通業務地、そして地区の大半を占める山間部の山林・農村集落地からなっています。

#### ◆ 市街地の整備状況

臨海部の大半は公有水面埋立事業により造成され、和田川沿岸の住宅地は土地区画整理事業により基盤整備が進行していますが、谷山駅周辺の古くからの中心市街地では、計画的な面的基盤整備は行われていません。

また、既存の住宅団地の隣接地など丘陵部では、人口フレーム保留制度を活用した新たな宅地開発が進められています。

#### ◆ 都市施設の整備状況

地区にはJR指宿枕崎線が通り、谷山駅は広域交通と都心部方面及び地区の市街地交通を連絡する拠点駅となっていますが、永田川や鉄道を越える自動車交通の経路が限定されていることもあって幹線道路の交通渋滞が慢性化しています。

#### ◆ 地区の環境と資源

西部の錫山、烏帽子岳等の山地、丘陵斜面の山林、平川の自然海岸など、本市にとって重要な一団の自然環境が多く残されています。

また、鉄道の高架化を含めて谷山駅周辺の交通結節機能の強化を行う「谷山駅周辺地区土地区画整理事業」等、様々なプロジェクトが進められようとしています。

#### 【地区の位置づけ】

市南部の、ひいては南薩地域の中心市街地、交通の要衝

## (2) 地区のまちづくりの主要課題

谷山地区は、一都市としての構造を有し、本市の副都心として、重要な役割を担っているものの、それに見合う都市基盤の整備が十分とはいえません。特に谷山地区全体の発展をリードする副都心核である谷山駅周辺地区においては、中心市街地の活性化のための拠点施設の整備やそれに伴う交通の要衝としての交通結節機能の強化、道路網の整備が求められています。

### ◆ 副都心核としての谷山駅周辺地区の再整備と活性化

谷山駅周辺地区は副都心核として位置づけられているものの、都市基盤が未整備で幹線道路の混雑や商店街の活力の低下が見られるなど、副都心の核としての再整備、活性化が必要となっています。

### ◆ 谷山副都心をネットワークする道路網の整備

谷山副都心地区には、鉄道踏切や河川橋梁部など大量の交通が集中する交通ネック箇所があり、これらを解消して交通を円滑にさばく幹線道路網の整備が必要です。

### ◆ 住宅市街地の環境の改善

谷山第二地区では土地区画整理事業により、面的基盤整備が進められていますが、谷山駅から和田町にかけての国道225号沿道の後背地や坂之上地区及び宅地開発が進行している清和小学校周辺地区においては、日常生活を支え、災害時の安全を確保する道路などの整備による生活環境の改善が必要です。

### ◆ 恵まれた山、海、川の自然環境と田園集落環境の保全・活用

地区には、権現ヶ尾から烏帽子岳にいたる広大な自然山林や平川海岸、永田川など豊かな自然環境に恵まれ、その中で自然と調和した農村集落が分布しており、これらを保全、活用していくことが必要です。

#### 【主要プロジェクト】

- 谷山第二・第三地区（仮称）土地区画整理事業
- 谷山駅周辺地区土地区画整理事業
- サブターミナルの整備
- 谷山地区連続立体交差事業
- 鹿児島南北幹線道路の整備
- 臨港道路の整備
- 南薩縦貫道の整備
- 国道225号川辺改良／国道226号平川道路の整備
- 県道小山田谷山線／（仮称）牟田和田線／南清見諏訪線／谷山支所前通線／御所下和田名線／向川原森山線の整備
- ニュータウン慈眼寺宅地造成事業
- 万田ヶ宇都土地区画整理事業

# 谷山地区のカルテ（現況と課題）

## ●地区の位置と主要指標●

谷山地区は、臨海部の埋立造成地と永田川系河川の流域である平地、内陸部の丘陵地から構成されています。

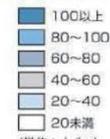


面積 (ha)	7,059.7
市街化区域	1,751.7
市街化調整区域	5,308.0
人口 (人)	73,166
世帯数 (世帯)	27,798

人口:平成12年「国勢調査」  
面積:平成16年11月1日現在

## ……市街地の密度……

### ●町丁目別人口密度

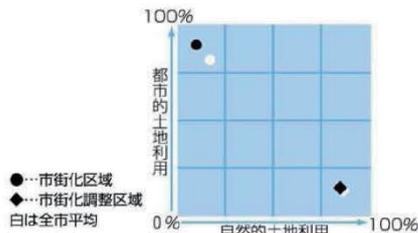


グロス人口密度	10.4 (11.0)人/ha
市街化区域	36.1 (60.7)人/ha
市街化調整区域	1.9 ( 1.9)人/ha

( )内は全市平均 人口:平成12年「国勢調査」  
面積:平成16年11月1日現在

## ……土地・建物……

### ●用途別土地利用面積構成



### ●土地利用変動

種別	件数	密度 (1ha当たり件数)
農地転用件数(H10~14)	874件	0.124 [0.068]
市街化区域	697件	0.398 [0.231]
市街化調整区域	177件	0.033 [0.044]
新築戸数(H10~14)	1,883戸	0.27 [0.23]
市街化区域	1,541戸	0.88 [1.15]
市街化調整区域	342戸	0.06 [0.06]

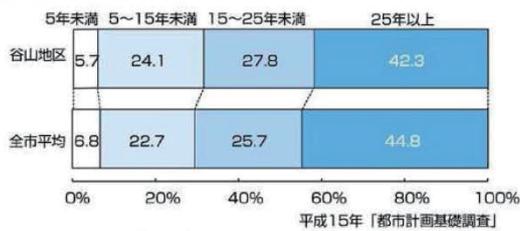
[ ]内は全市平均 平成15年「都市計画基礎調査」

### ●市街地の建ぺい・容積率

ネット建ぺい率	27.7 (34.1) %
ネット容積率	40.3 (55.9) %

( )内は全市平均 平成15年「都市計画基礎調査」

### ●建築年齢の状況

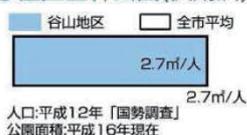


## ……基盤施設……

### ●道路面積率(市街地)



### ●住区基幹公園(供用済)の一人当たり面積



## ……住宅……

### ●住宅の状況

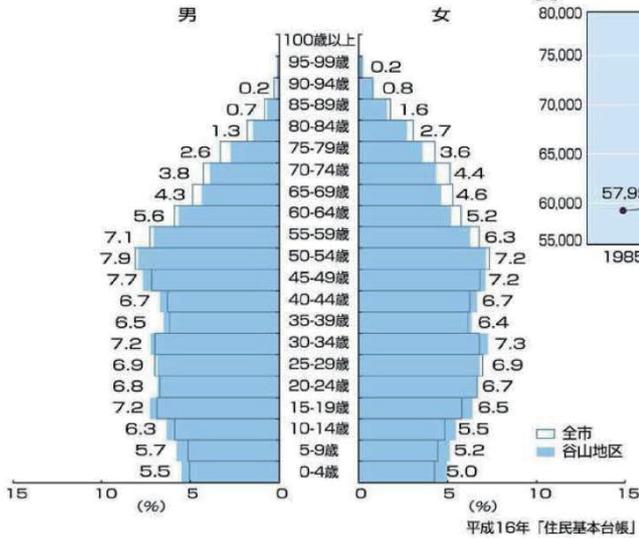
一人当たり延床面積	29.4 (31.0) ㎡
一世帯当たり延床面積	76.6 (74.4) ㎡

民営借家率	36.7 (36.2) %
持家率	57.5 (52.3) %

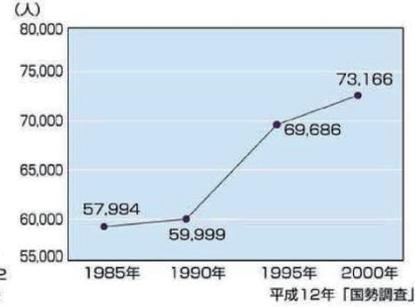
( )内は全市平均 不詳を除く 平成12年「国勢調査」

……居住者の状況……

●人口の年齢構成



●人口の推移



●年齢構成の推移



●町丁目別老年人口比率

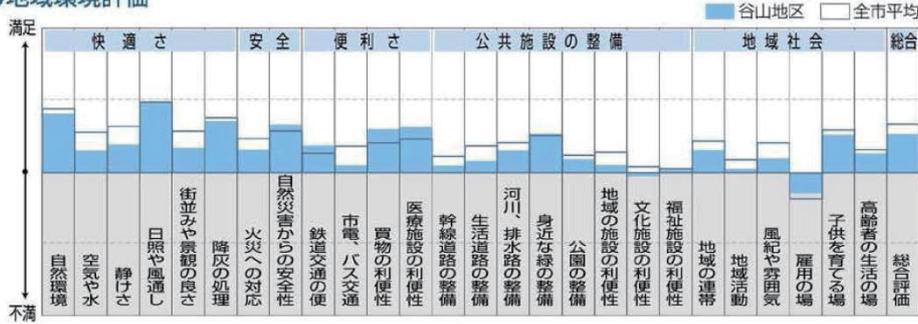


●世帯人員数



市民意向

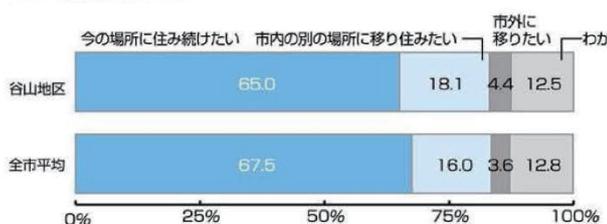
●地域環境評価



●整備希望項目



●居住継続意向



●計画的まちづくりとして優先すべき施策



### (3) 地区のまちづくり構想

【地区のまちづくりの目標】

かごしまの副都心、南薩地域の拠点地区としての

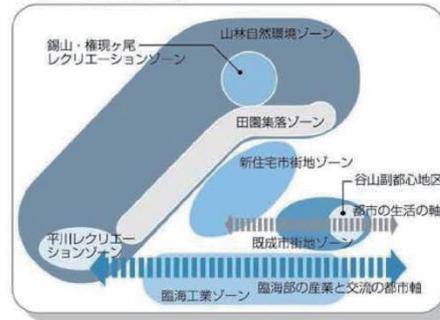
**いきいきとした活力を育むまちづくり**

#### 地区整備の基本方針

【地区整備の方向性】

“かごしまの副都心核、  
谷山中心市街地の  
再構築、活性化”

【地区構造図】



#### ◆ かごしまの副都心核としての谷山駅周辺地区の土地区画整理事業と交通結節機能の充実

谷山駅周辺地区土地区画整理事業により、面的基盤整備、街区の再編を行い、計画先導型で適正な土地の高度利用を進め、かごしまの副都心、広域的な拠点地区の核として、「たにやま」の独自性を創出する魅力ある都市空間と都市機能の集積を図ります。

谷山駅におけるサブターミナルの整備、谷山駅と谷山電停間との乗り継ぎ機能の強化及び駅に至るバス路線の再編等により、谷山駅周辺地区の交通結節機能の強化を図ります。

谷山駅周辺の国道225号沿道の中心商店街の活性化を促進します。

#### ◆ 交通混雑を緩和し、地区内の交通を円滑化する幹線道路網の整備と

地区ごとの特性に応じた生活環境の整備

国道225号や産業道路に集中する通過交通を緩和する鹿児島南北幹線道路や南薩縦貫道などの広域道路網の整備を促進するとともに、これらを補完し、谷山副都心をネットワークする幹線道路等の整備を推進します。

谷山副都心の交通ネックとなっている踏切渋滞の解消を図り、谷山駅へのアクセスの向上とネットワークを形成するために、鉄道の高架化を推進します。

市街化が進行している住宅市街地においては、土地区画整理事業を推進して面的基盤を整備するとともに、県農業試験場跡地の文教・福祉拠点としての利用など、区画整理後の土地の有効利用を図ります。

宅地開発の進行している清和小学校周辺地区においては、組合施行による面的基盤整備を促進します。

谷山駅から和田町周辺にかけての国道225号沿道後背地においては、閑静な住環境を維持しつつ幹線道路や地域生活道路の整備を中心とした防災性と生活環境の改善を図ります。

坂之上地区においては、地域生活道路や踏切改善、公園等の整備により生活環境の改善を図ります。

#### ◆ 恵まれた一団の自然環境や良好な都市環境の保全と有効活用

一団の雄大な山林環境を保全しつつ、自然遊歩道の活用やレクリエーションの森の整備などにより、自然とのふれあいを進め、自然環境の有効活用を図ります。

指宿スカイラインなどからの雄大な眺望や慈眼寺風致地区など市街地に隣接した良好な緑の環境・景観の保全・活用を図ります。

自然海岸の残る平川海岸の保全と浜平川港区のマリーナ機能や親水緑地の整備などにより、平川動物公園、錦江湾公園と一体となったレクリエーションゾーンの形成を図ります。

● 地区整備の方針図【谷山地区】

“かごしまの副都心、南薩地域の拠点地区としての「いきいきとした活力を育むまちづくり」”



3章

※ この方針図は、概ね20年後のあるべき姿を想定したものであり、構想・計画中の新設道路等については、具体的なルート、位置等を規定するものではありません。

## (4) 部門別方針

### 土地利用・市街地整備の方針

#### ◆ 中心商業業務ゾーン

- 谷山駅周辺地区においては、本市の副都心の核として、土地区画整理事業により、計画的で適正な土地の高度利用を進め、「たにやま」の独自性を創出する魅力ある都市空間の形成と都市機能の集積を促進します。
- 国道225号沿道の中心商店街においては、谷山地区中心市街地活性化基本計画に基づく商業環境の整備や土地の高度利用の促進により、にぎわいの創出を図ります。

#### ◆ 沿道サービスゾーン

- モータリゼーションに対応した沿道型の商業・サービス機能や地区の生活拠点としての地区の生活利便に資する商業・サービス施設の立地誘導を図ります。

#### ◆ 住宅専用ゾーン

- 宅地開発の進行している清和小学校周辺地区においては、組合施行による面的基盤整備を促進します。
- 坂之上地区においては、地域生活道路や踏切改善、公園等の整備により生活環境の改善を図ります。
- ニュータウン慈眼寺、万田ヶ宇都地区においては、周辺環境と調和した優良で計画的な人口フレーム保留制度の活用により、良好な宅地開発を促進します。

#### ◆ 一般住宅ゾーン

- 谷山第二、第三地区（仮称）においては、土地区画整理事業を推進します。
- 谷山第二地区土地区画整理区域内の県農業試験場跡地周辺地区においては、広域的な文教・福祉拠点と位置づけ、土地の有効利用を促進します。
- 谷山駅から和田町周辺にかけての国道225号沿道後背地の住宅地においては、閑静な住環境を維持しつつ、幹線道路や地域生活道路の整備を中心とした生活環境の改善を図ります。

#### ◆ 工業ゾーン

- 工業に特化した利便性、環境の維持・増進を図ります。

#### ◆ 産業物流・港湾業務ゾーン

- 広域交通の利便性を活かし、産業物流拠点としての機能の保持・増進を図ります。
- 適正規模の集客施設の立地を誘導するために特別用途地区の活用を図ります。

#### ◆ 沿道複合産業ゾーン

- 後背地の工業地の利便に供する施設や物流、モータリゼーションに対応した施設等の立地を許容する複合的な土地利用を誘導します。
- 適正規模の集客施設の立地を誘導するために特別用途地区の活用を図ります。

#### ◆ 田園集落ゾーン

- 優良田園住宅建設促進制度や指定既存集落制度、市街化調整区域における住宅建築等に関する条例による住宅や既存集落活性化住宅の建設による集落機能の活力の維持・増進を図ります。
- 道路・公園等の整備により、生活環境の改善を図ります。

#### ◆ 自然環境保全・活用ゾーン

- 権現ヶ尾、錫山、鳥帽子岳等を有する一団の雄大な山林環境の保全に努めます。
- 錫山、鳥帽子岳の自然遊歩道の活用や錫山地区周辺のレクリエーションの森の整備などにより、自然環境の有効活用を図ります。
- 平川海岸においては、自然海岸の保全や親水性に配慮した環境整備を図ります。
- 慈眼寺公園周辺地区においては、丘陵の自然環境と調和し桜島・錦江湾の眺望に優れた景観風致の保全・活用を図ります。

## 交通体系整備の方針

- 谷山駅周辺地区土地区画整理事業と連動した谷山駅におけるサブターミナルの整備及び谷山駅と谷山電停間との乗り継ぎ機能の強化などにより、交通結節機能の強化を図ります。
- 谷山副都心地区の交通ネックとなっている踏切渋滞の解消や副都心としてのネットワーク型都市構造を形成するため、鉄道の高架化を推進します。
- 谷山駅周辺地区と住宅団地、臨海部産業用地を連絡するバス路線の再編、地域循環バスの拡充促進などバス交通の充実により、地区内の連絡機能の強化を図ります。
- 鹿児島南北幹線道路、南薩縦貫道、国道225号川辺改良、国道226号平川道路、県道小山田谷山線、臨港道路など広域道路等の整備を促進し、地区内の通過交通の緩和を図ります。
- 南清見諏訪線、谷山支所前通線、御所下和田名線、向川原森山線など広域道路網を補完し、谷山副都心をネットワークする幹線道路や、市道木下慈眼寺団地線等を整備します。
- 中心市街地においては、魅力的な歩道・緑道・ポケットパーク等のバリアフリーに配慮した人にやさしい歩行者ネットワークの形成を図ります。

## 都市環境形成の方針

### ◆ 公園・緑地

- 浜平川港区における潮の香りのする、潮騒の間こえる空間の整備等により、平川動物公園、錦江湾公園と一体となったレクリエーションゾーンの形成を図ります。

### ◆ 都市景観

- 指宿スカイラインなどからの雄大で良好な眺望の保全、眺望スポットの整備を促進します。
- 国道225号の電線類の地中化を促進するとともに、自然・石垣・屋敷の点在等を活かした良好な街並み景観を形成します。

### ◆ 自然環境

- 権現ヶ尾、錫山、鳥帽子岳等を有する一団の雄大な山林環境の保全に努めます。
- 慈眼寺公園周辺の風致地区など良好な都市環境を保全します。
- 錫山、鳥帽子岳の自然遊歩道の活用や錫山地区周辺のレクリエーションの森の整備など自然環境の有効活用を図ります。
- 平川に残る自然海岸の保全や、親水性に配慮した環境整備を図ります。
- 木之下川の上流域における生態系の保全や自然環境に配慮した水辺の創出を図ります。

## 都市防災・その他都市施設整備の方針

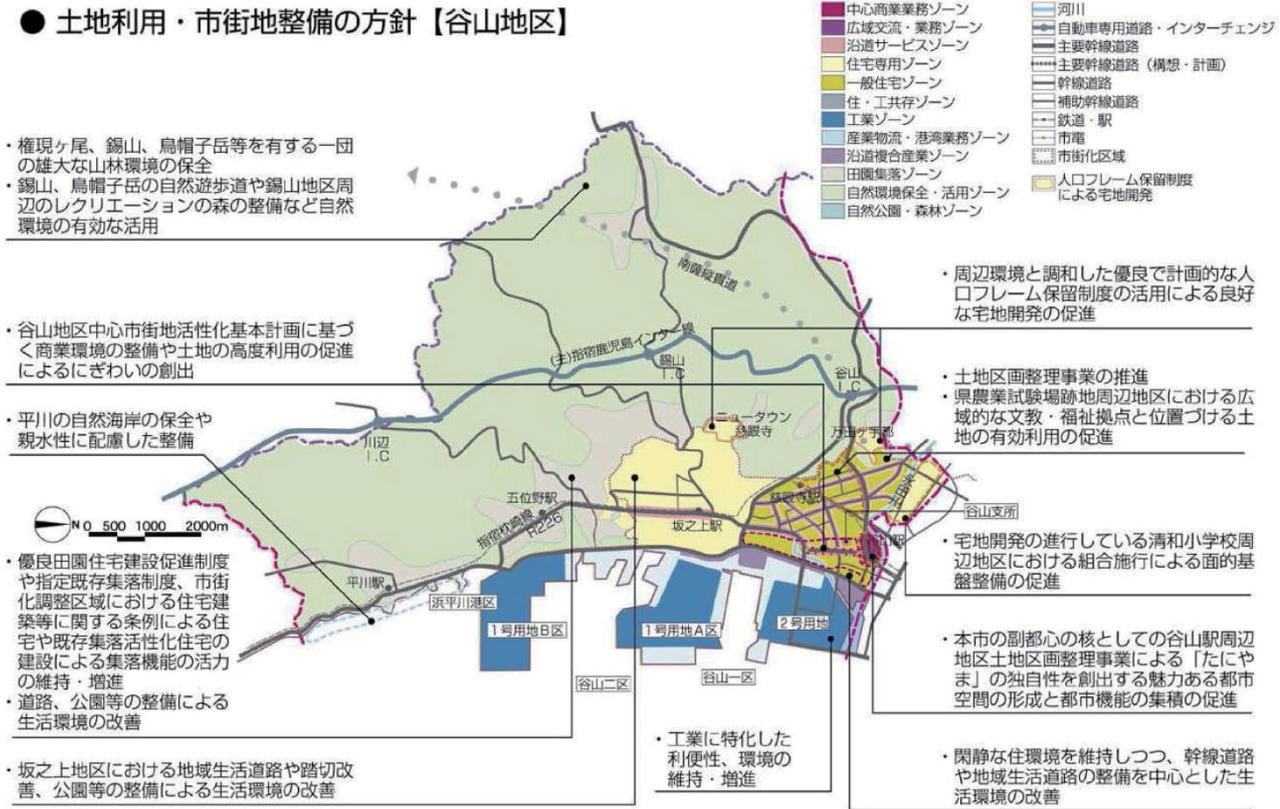
### ◆ 都市防災

- 木之下川流域の低地区においては、排水対策を推進します。
- 谷山駅から和田町周辺にかけての国道225号沿道後背地の住宅地においては、道路整備を中心とした環境整備により、防災性の向上を図ります。

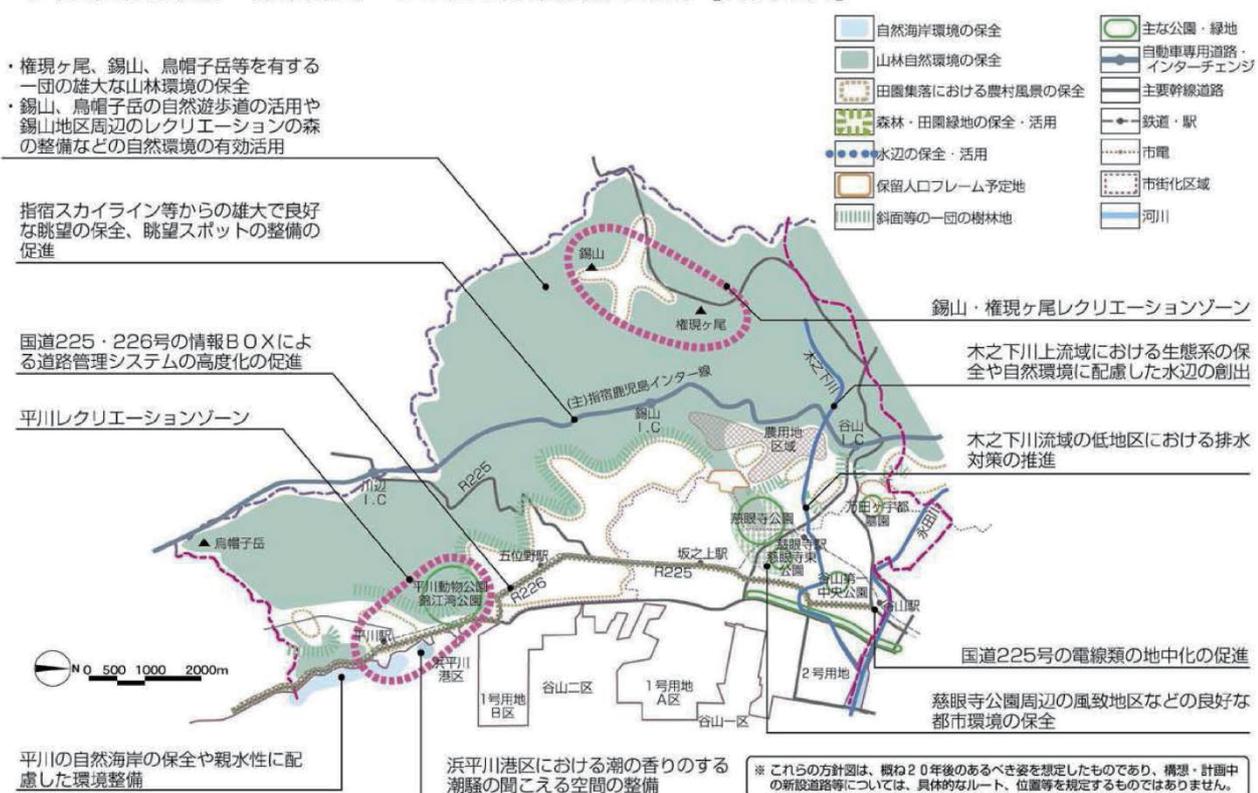
### ◆ その他都市施設

- 錫山簡易水道については、地元と協議を行い、市水道事業への編入の促進を図ります。
- 市街化調整区域内における合併処理浄化槽の設置を促進し、生活環境の改善を図ります。
- 国道225号や226号の情報BOXによる道路管理システムの高度化を促進します。

● 土地利用・市街地整備の方針【谷山地区】



● 都市環境形成・都市防災・その他の都市施設の方針【谷山地区】



● 谷山地区のまちづくりの資源と問題点等の分布図



◆地区の資源

自然	① 錦山や権現ヶ尾の一角で重要な山林自然環境 ② 市街地近郊から錦山へとつづく山林自然環境に親しめる錦山自然遊歩道 ③ 平川町から錦山、下福元町へかけての山林自然環境と一体となった農村集落環境 ④ 山林自然環境に親しめる鳥帽子岳自然遊歩道 ⑤ 集落地外縁のグリーンベルトを形成する斜面緑地 ⑥ 平川に残る貴重な自然海岸 ⑦ 慈眼寺団地などの住宅団地周辺の一角の斜面緑地 ⑧ 慈眼寺風致地区 ⑨ 市街地内を流れる永田川等の水辺環境
歴史(史跡等)	⑩ 谷山神社 ⑪ 地区のシンボルとして親しまれている谷山城(千々輪城)跡
まち並み・景観	⑫ 市街地、錦江湾、桜島の優れた眺望点である錦江ゴルフクラブ
公共的施設	⑬ 遊歩道が整備され緑豊かな慈眼寺公園 ⑭ 鹿兒島の古代からの歴史がたどれるふるさと考古歴史館 ⑮ 町中であり気軽に訪れたいくなる三宅美術館 ⑯ ささまざまな催しが行われる谷山サザンホール ⑰ 谷山緑地 ⑱ 緑に囲まれた児玉美術館 ⑲ 眺望にすぐれ広場の利用に適した錦江湾公園 ⑳ 動物とのふれあいを楽しめる平川動物公園 ㉑ 平川の整備された親水空間 ㉒ 鹿兒島国際大学



